

第6回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成20年12月16日（火）午後7時00分～午後9時25分

場 所：市役所3階 第2会議室

出席委員：6名

欠席委員：3名

傍 聴：1名

事務局：4名

会議資料：①市民討議会の準備について
②参加依頼書に関する資料
③実行委員会の日程について
④地区説明会で出された意見の分類結果表

1. 開会挨拶（小林委員長）

- ・お忙しいところ連日お集まりいただきありがとうございます。
- ・配布資料の確認（事務局）

2. 市民討議会の準備について

（1）テーマの選定について

【主なご意見】

※テーマの選定に関する主なご意見は、市民討議会開催後に公表させていただきます。

- ・大テーマは「南部地域のまちづくり」といった簡単なもので良いのではないか。
- ・最初の段階では大きなテーマから入り、順に細かく分析しながら具体的な意見が出てくるようなテーマ設定が望ましいと思う。このように2段構えでできれば、市民討議会の意義がある程度達成できるのではないかと思う。
- ・課題だけでは問題であるし、課題から外れたテーマだけでは市民討議会の趣旨からずれていってしまうと思う。
- ・無作為抽出の市民の方々には、南部地域の正確な範囲の認識から共有化していく必要がある。
- ・小学校教育の中で、市内の地理や歴史などを教えているか？
→小学校3年生くらいで学習していると思われる。

- ・小学校3年生くらいから国立市に在住していればある程度の認識はあるが、以後に転入した人にとってはわからないことになる。
- ・国立市の歴史などは情報提供の時間の中で伝えていくことができるのではないか。
- ・1つ目のコマは意見交換というより、ビデオや資料、説明などから感想などを出し合い理解を深めることで良いと思う。南部地域に関する解説ビデオや小冊子などはあるだろうか？その場合の情報提供者は、小学校の先生などであればわかりやすく話してくださるのではないかと思う。
- 今のアドバイスを参考に、人選のことについても事務局で検討したい。教育関係の財団などもあるので、その職員も考えられる。
- ・情報提供者は視点の異なる2名が良い。
- ・国立というと、北部の人や市外の人や大学通り周辺の都会的なおしゃれなイメージしかない。「南部地域についてもっと知ろう」ということを導入した方が良いと思う。同じ市内ながら知らないということが問題だと感じる。
- ・入口としては南部地域について知ろうということで良いと思う。順に、南部地域の問題や課題を考えていくという進め方が良い。
- ・知らないということを逆手にとって、「南部地域外に住んでいる人に幅広く南部地域のことを知ってもらうにはどうしたら良いですか」というコマをつくってはどうか。その前段として位置関係や特徴、都市施設などの基礎知識や、南部地域の魅力などをテーマとしたコマを設ければ、参加者自身は実感として知ることができる。
- ・1日目に現状や魅力についてしっかり知ってもらい、2日目に課題の議論に進めていければ、初めて来た人にもわかりやすい流れになると思う。
- ・南部地域の持つ自然の魅力を外に発信するにはということも話せたら良いと思うが。
- ・「何が魅力なのか」や「どういうまちにしていきたいか」は参加者が決めることであり、魅力の内容を実行委員会から提示することは誘導するようなことになってしまい、市民討議会の進め方としては適切ではない。
- ・魅力やまちの姿の内容については、情報提供の中で工夫することができる。
- ・2日目の落としどころは、南部地域整備への提案といったことになるのではないか。1日目に話された現状認識があって、提案につながるのではないか。
- ・非常にストレートではあるが「南部地域のまちづくりはどうしたらスムーズに進むのか」という話ができると思う。
- 見直しの整備計画は今後10年の計画であり、その中では優先順位についても明らかにすることになる。
- ・優先順位の検討ができるということは、市としては課題のリストアップは終わっていると考えて良いか？
- 基盤整備がなされていないことから住民の生活に不便をきたしている現状について

ては市も認識している。

- ・ たくさん課題に対しあれもこれもと盛り込んだ計画をつくるわけにはいかないわけだから、何を優先するかということをも市民討議会で共通認識化するということが期待できる。そのためには、参加者が現状を認識することと将来を見据えて議論することが必要だ。

- ・ 行政の考える「開発系のまちづくりの王道」というものは何か？インフラ整備により人の流動化を図り、そのことで定住促進または工場誘致などにより税収を上げるということか？

→既存の南部地域開発整備計画に基づき、道路整備や区画整理などの具体的な事業ごとの事業計画や実施計画を立て、それに沿って測量や設計などを進める。財政的なことや地元の合意の問題もあり、なかなか進んでいないのが現状である。

- ・ そのような手順や順番の話は専門的な用語や内容となるため、一般市民にとっては非常に難しい。
- ・ 市民討議会に具体の計画を求めているわけではないと思うが、夢物語を語ってももったいないことになる。現実と夢のバランスが大事だと思う。現実的なことで最低限やらなければならないことを市民に上手に説明することが必要だと思う。

- ・ 難しい言葉を使わずに普通の言葉で伝え参加者の理解を得られれば、討議ができると思う。地区説明会では道路の問題に関する意見が多いが、住民の方の不便が大きいと感じさせ、南部地域の課題の代表的なものだと言える。この現状を打破するにはどうしたら良いかということをお話し合ってもらいたい。ただし、この問題では情報提供の仕方が難しいと思われる。

→道路拡幅の問題で言えば、地権者の土地が減ることなので整備に時間がかかってしまう。

- ・ 整備に時間がかかる原因などの情報を提供してもらおうと、道路整備の難しさなど理解が深まるような気がする。
- ・ 話の中で道路のことに触れるのは良いが、テーマとしてはどうだろうか。
- ・ 区画整理や道路については一般的な問題と個人的な問題があって、話すことの難しさがある。住民にとっては一番の生活不便の根底であるため、専門的ではなくわかりやすいレベルでその解決方向が見えるような提示がされれば良いと思う。利便性のことと自然の保全という両方の視点が表現されたテーマが設定されると良いと思う。個人的には、南部地域の全てが市街化されることが良いとは思わないし、反対に現状のまま放置しておくのもまた問題だと思う。住民にも住民以外にも現在の自然環境を大事に思っている人がいる。開発と保全という両面があることを基本においてテーマ設定できればと思う。

- ・ 自然の保全についてというテーマを設定すること自体が「意見」になってしまうため、市民討議会のコマとしては適切ではない。市民の皆さんには自然を「どうする

のか」ということを考えてもらうため、例えば企業誘致の考え方と自然保護の考え方の両方を情報提供者から話してもらって、どちらの意見に市民の方は魅力を感じるのか、といったつくり方を行うのが良い。テーマ設定については、バランスをとるのが肝心だと思う。

- ・道路の問題や区画整理の問題ということが議論の入り口だと一般市民には難しく感じる。むしろ自然をどうするかといったことのほうが話しやすい。
- ・緑の保全について提示するのではなく、緑の現状を伝えどうするかという組立にすると良いと思う。個人的には緑は好きだが、市民討議会としては保全ありきになってはいけない。情報提供者からどういう意見をもらうのはかまわないが、実行委員会としては偏ったテーマとしてはいけないと思う。
- ・自然のことについては「南部地域の魅力」の中に入ってくる概念だと思う。各論になったときに恣意的なものは排除しなければいけない。
- ・1日目に南部地域の魅力について話し合うので、自然のことは出てくるのが予想される。それをふまえて2日目の落としどころは「南部地域をどうしたら良いか」ということになるのではないかな。
- ・緑の魅力といっても現実的には、昔からの自然が残っているのはハケ沿いだけになってしまっており、ほかは市街化されている。畑や水路などは人々の手が入った緑と言える。
- ・緑が減る寂しさの反対に利便性の向上もあると思う。放っていた自然に手を入れて市民生活に寄与しているのもまた「整備」である。それらを考えると自然ありきではなく人々の生活とあわせて考えることだと思う。また、現在決定されているのに整備されていない公園などにより緑を創出することも意見が出ると思う。
- ・これまでの意見を聞いて、保全と整備は必ずしも二律背反ではなく調整点であると思う。自分としては保全と開発が相反していることとは思えない。市民討議会のテーマとして考えると、区画整理や道路という問題は必ず地権者の意向によって進むものであり、市民意見を尊重した基本計画を作っても実行段階で実施されるかどうかは別問題となるため、実施段階のところに視点あてたテーマとするよりもむしろ南部地域の価値観、もしくは大きなコンセプトがどういうものであり市民が評価するのかしないのかといったことにとどめておいたほうが良いように思う。
- ・2日目の最後は「南部地域がより住みやすくより豊かになるにはどうしたら良いですか」というテーマとしてはどうだろうか。「住みやすく」というのは南部地域に住んでいる方に限定されるが、一方の「豊かに」というのは市全体に波及することだと思う。その前段として「住みやすいとはどういうことか」「豊かとは何か」ということを考えてもらうのはどうだろうか。豊かの中身は財政的なことだけでなく自然が豊かということも入ってくるだろうと思う。
- ・優良な企業が来て地域に溶け込み税金を払ってくれば、市民全体にとって有益な

ことである。

- ・「道路」や「区画整理」ではわからない人や深く知っている人とでアンバランスがあるが、「住みやすい」や「豊か」ということを聞くのは一般市民の方にもアプローチしやすい言葉だと思う。
- ・「住みやすさ」「豊かさ」ではあまりにも漠然としすぎないか心配な面がある。
- ・漠然とならないよう、資料と情報提供でカバーする必要がある。
- ・実現化を考えるときには優先順位についても検討したほうが良いだろうか。
- ・優先順位に関しては市民に求めず行政の仕事としておいたほうが良いと思う。
- ・南部地域がどこを指すかということの共通認識化については、来た方にわかってもらうよう最初に説明が必要である。
- ・当日配布資料には、小テーマだけでなく例えば「この時間は情報提供を聞いての感想を話し合ってください」など、各コマの目的解説や議論の方向性を記載しておく必要がある。

【集約】

- ・大テーマは「南部地域のまちづくり」で確認された。

※なお、小テーマは市民討議会開催後に公表させていただきます。

- ・小テーマは以下のとおり確認された。
 - 1日目 ①南部地域の魅力について
 - ②南部地域の課題について
 - ③南部地域を広く市民に知ってもらうにはどうしたら良いか
- 2日目 ①南部地域を住みやすくするにはどうしたら良いか
- ②南部地域を豊かにするにはどうしたら良いか
- ③①②を実現するにはどうしたら良いか

(2) 周知の方法等について

【主なご意見】

- ・プレスリリースに関して、都内でも他の事例が多くなってきていることから話題性が乏しく、単に「市民討議会を開催します」ではマスコミがこないが、今回は課題解決型の試みを行うことをPRすると良いのではないかと思う。課題解決型の市民討議会は日本で初めての取り組みだと思う。
- ・立川青年会議所主催の市民討議会のプレスリリースを担当したが、市役所にある記者クラブに情報を流したり、立川にある各支局にFAXを入れたうえで念押しの電

話を入れるなど行った。またマイテレビは直接連絡すると良いと思う。

- ・今回は人集めのイベントではないため、どのようなタイミングで外部へ声をかけたら良いだろうか。
- ・開催一カ月前に一度連絡と、2～3日前に念押しの連絡程度で良いと思う。開催予告により傍聴等の参加を得ることも期待し、また当日の取材に来てもらい実施後であっても市民討議会を広く知ってもらうことにつなげたら良いと思う。

【集約】

- ・市報の文章案については、資料のとおり確認された。
- ・プレスリリース用の文案を次回事務局から提案することになった。

(3) 参加依頼書について

【主なご意見】

- ・参加依頼書はいつ送付するのか？
→年末年始でまぎれてしまう可能性を避け、1月9日に発送する予定である。
- ・1月26日に予定されている返信の呼びかけの内容はどのようなことか？またその予算はどうなっているか？
→「参加依頼書をご覧いただきましたか」といった文面で発送を考えている。発送日程についても効果的な日を検討したい。予算は当初から計上していないため、やりくりで対応したいと考えているが、効果的なことも含めて審議願いたい。
- ・参加依頼書発送後は問い合わせが多いと思うので、問い合わせ番号と担当者名及び対応可能時間を大きく示すのが効果的なようだ。
- ・ポスター、チラシは、本日確認された大テーマを入れていくつか案を作成し、皆さんに確認してもらう
- ・参加申込書に電話番号の記入を求めているが、民間の場合はあわせて連絡をしても良いかどうか聞いているが、行政の文書としては大丈夫か？
→行政からの連絡なので、通常はそのような記載はしていない。資料案のとおりで対応したい。
- ・参加申込書の上部に記載されているFAX番号は、もっと大きく目立つように書いておくと良い。また、返信FAXが2枚に渡ると返信率が悪くなるので、1枚に収まるようにした方が良い。
- ・押印を求めているが、自署してもらうので押印は不要ではないか。
- ・参加申込書にも自由記入欄を設けると、何か意見を拾える可能性がある。
- ・やわらかい表現で「疑問、心配など何でもお問い合わせください」というチラシを一枚追加した方が良い。

【集約】

- ・ポスター、チラシは小林委員長と事務局で相談し作成し、委員にはメールで確認いただくこととなった。
- ・参加依頼書、アンケートは来週中に修正し、委員にはメールで確認いただくこととなった。

(4) 情報提供者について

- ・次回検討することで確認された。
- ・本日決まった小テーマに関する情報を持っている方などについて、各委員で心当たりがあれば次回にプロフィールを持ち寄ることが確認された。

3. その他

- ①第7回実行委員会は1月5日（月）18時から開催することで確認された。
- ②小針委員に各小テーマの内容に関する資料を作成していただくことで確認された。

以上